

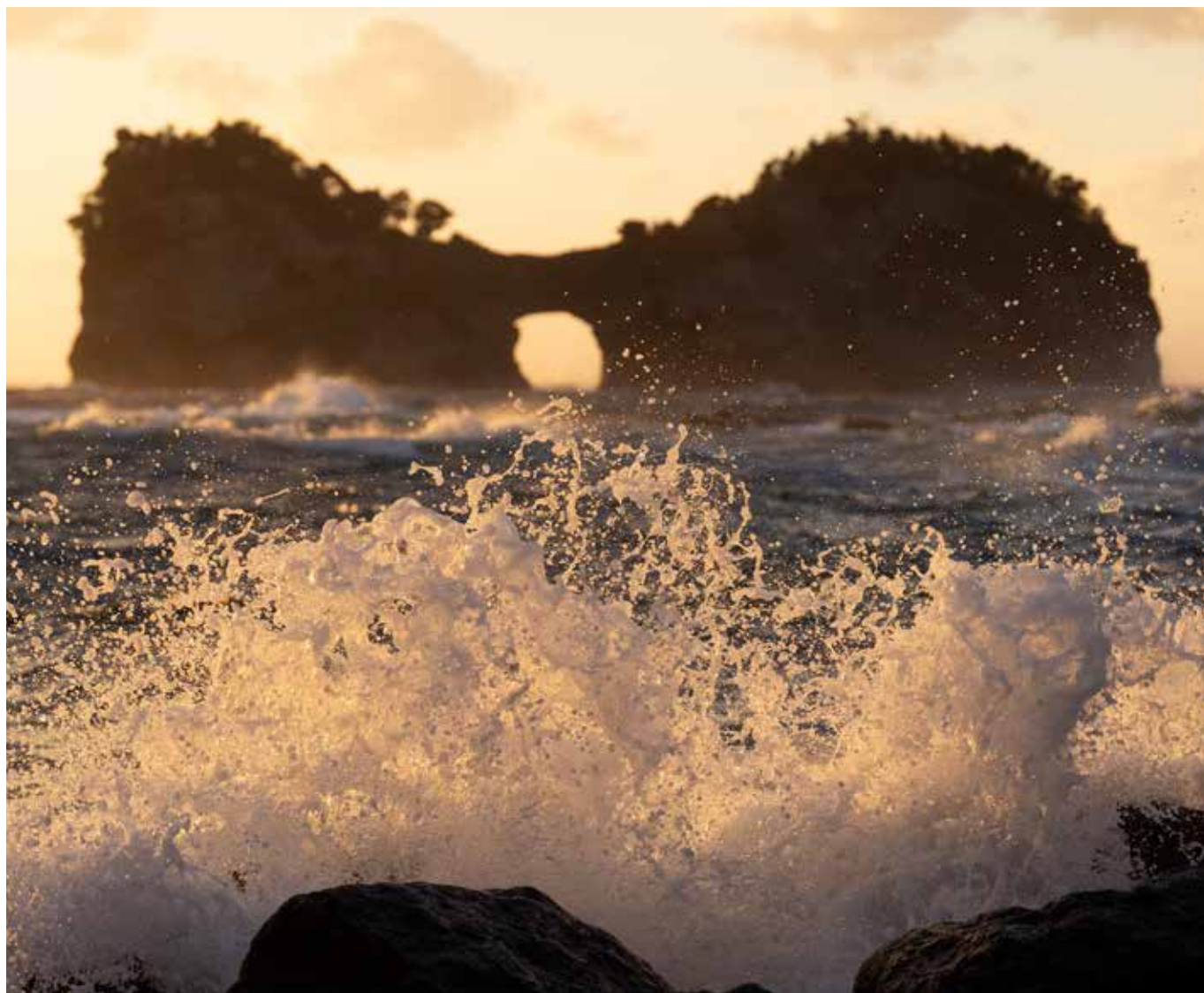
白浜町 議会だより

No.59

令和3年(2021)2月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



(令和3年元旦 撮影：宮原克典氏)

CONTENTS

■ 令和2年第4回定例会	P. 2～5
■ 一般質問	P. 6～10
■ 討論のあった議案	P. 11
■ 委員会活動	P. 12～14
■ 町議会・議長の主な動き	P. 15
■ 次回定例会日程など	背表紙

▷▷ 令和2年第4回定例会 (12月1日～12月16日)

第1日

12月1日【開会、町長挨拶、提案理由の説明】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（専決処分の承認4件、町道関係2件、物品購入契約2件、指定管理者の指定20件、条例改正7件、補正予算関係4件、報告1件）

第2・3日

12月10日【一般質問】

- ・辻議員、小森議員、廣畑議員、長野議員、丸本議員

12月11日【一般質問】

- ・正木議員、南議員、水上議員、松田議員
- 《P6～P10に内容記載》

第4・5日

12月15日【議案審議、提案理由の説明】

- ・議案審議（専決処分の承認4件、町道関係2件、物品購入契約2件、指定管理者の指定20件、条例改正7件、補正予算関係4件）
- ・議案の提案理由説明（補正予算関係1件）

12月16日【議案審議、閉会】

- ・議案審議（報告1件、補正予算関係1件、令和元年度決算認定関係9件）
- ・委員会発議案件（閉会中の継続調査申出1件、閉会中の継続審査申出1件）



(和歌山県消防ポンプ操法大会の様子)

□ 条例改正

○ 白浜町課設置に関する条例の一部を改正する条例について

新たに地域防災課を設置するため改正を行う

○ 白浜町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

経験豊かな団員が、長期出張や育児など一時的な理由で退職せざるを得ないということがないよう、団員の身分を保持したまま一定期間活動を休止できる制度を導入するため改正を行う

□ 補正予算

○ 令和2年度白浜町一般会計補正予算(第8号)

・ 既定予算への補正額 5億2090万円

・ 補正後の歳入歳出予算総額 162億1420万円

主な補正内容は次のとおり

★ Ⅱ 新型コロナウイルス対策

【総務費】

- ・ コミュニティFM放送設備更新事業 450万円

- ・ ふるさと白浜応援寄附金事業 1億5892万円

- ・ 寄附金の増加に伴い増額 津波避難ビル建設事業 2億6772万円

- ・ 中地区及び日置地区への津波避難ビル建設に係る経費

【民生費】

- ・ 障害者自立支援給付費等事業 2082万円

- ・ 障害児施設給付費等事業 1160万円

- ・ 保育園委託事業 1095万円

- ・ 保育園委託事業 1095万円

【衛生費】

★新型コロナウイルスワクチン
接種準備事業

211万円

ワクチン接種対応に伴うシス
テム改修等に係る経費

・紀南環境広域施設組合負担金
1584万円

【農林水産業費】

・林道将軍川線補修事業

595万円

・松林保全対策事業

536万円

白良浜の松への樹幹注入及び
三段周辺等の伐倒駆除に係る
経費

【観光費】

★プレミアム旅行券販売事業

3540万円

町内の宿泊施設で利用できる
割引クーポンの販売を、第2
弾として実施

★クーポン付きマップ販売促進
事業

160万円

町内の各施設、店舗で利用で
きるクーポン付きマップの販
売を、第2弾として実施

★事業継続支援金

400万円

県の事業継続支援金を受ける
町内事業者への上乗せ助成支
援を行うため、事業費を増額

★町内事業者事業継続推進補助金
570万円

感染症感染拡大防止対策等の
取り組みに対して支援を行う
ため、事業費を増額

○令和2年度白浜町一般会計補正
予算(第9号)

・既定予算への補正額

▲1億8240万円

・補正後の歳入歳出予算総額

160億3180万円

主な補正内容は次のとおり

【民生費】

・湯崎保育園新園舎建築工事費

▲2億1720万円

・施工監理委託料

▲4200万円

・造成工事費

3500万円

・造成測量設計委託料

400万円

令和2年度当初に計上してい
た新園舎建築工事にかかる事
業費を減額し、新たな建設予
定地の土地造成事業費を計上

○令和2年度白浜町国民健康保険
事業特別会計補正予算(第3号)

・直営日置診療施設勘定

251万9千円を減額し、

1108万1千円

・直営三舞診療施設勘定

229万4千円を減額し、

570万6千円

・直営川添診療施設勘定

229万4千円を減額し、

2980万6千円

○令和2年度白浜町後期高齢者
医療特別会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

2203万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

6億6940万1千円

○令和2年度白浜町介護保険特
別会計補正予算(第3号)

・既定予算への補正額

162万8千円

・補正後の歳入歳出予算総額

32億7155万2千円

□物品購入契約

○白浜町立小学校気化式冷風機
整備事業

【品名・数量】

気化式冷風機 24台

【契約金額】

1049万4千円

【契約相手】

白浜町栄545番地の1

有限会社 サワイ

代表取締役社長 澤井 勝彦

○白浜町立中学校気化式冷風機
整備事業

【品名・数量】

気化式冷風機 16台

【契約金額】

699万6千円

【契約相手】

白浜町栄545番地の1

有限会社 サワイ

代表取締役社長 澤井 勝彦

□指定管理者の指定

○白浜町宮向平キャンプ村

【指定管理者】

白浜町安居306番地の1

一般社団法人 南紀州交流公社

理事長 奥山 沢美

【指定期間】

令和3年4月1日から

令和8年3月31日まで





(令和2年度完成予定の津波避難タワー 写真左：中地区、写真右：日置地区)

Pick up!

地域防災課を新たに設置し、 防災力・減災力・防犯力を強化!

行動部隊の防災まち づくり係と啓発部隊 の地域防災推進係

問 今ここにきて新しく地域防災課を作ろうというきっかけは。

答 何年も前から庁内では協議を立て続けに来る状況が全国各地であり、感染症も含めた防災力を考えるとなれば、ひとつの課を作ること、防災力・減災力のアップに繋がると考えたため。

問 日置川地域には殿山ダムがあり、台風等の大雨時には日置川の氾濫を大変心配する。については、日置川地域の防災力強化のため、日置川事務所にも防災担当の職員を配置しては。

答 さらになる防災、減災に取り組むために新たな課を設置するものであるため、職員を増員し防災・減災を進める。全体の職員数のこともあるが、日置川事務所への職員配置も検討したい。

Pick up!

消防団員の身分を保持したまま一定 期間の活動休止ができる制度の導入

長期間消防団活動に 従事できない団員は、 3年を超えない範囲内 で休団できるように

問 県内の各消防団でも同様の制度を導入しているのか。

答 現在2つの町が導入しており、白浜町で3例目である。

問 過去の団員にも事例がいくつかあったことから、制度の導入に至ったのか。

答 消防団から休団制度を検討して欲しいとの要望があり、導入する運びとなった。

問 この制度の活用により、スキルの高い人に入り続けてもらえることは良いことだと思いが、団員のなり手が少なくなっていることも導入の理由か。

答 団員の確保というのも理由の1つである。条例定数が386名のなか、今年度はじめで49名の欠員が出ている。

Pick up!

湯崎保育園の建設予定地が

消防本部横に決定

造成工事費

3500万円

造成測量設計委託料

400万円



(消防本部横の新園舎建設予定地)

問 公共施設等総合管理計画の中で、子育て支援施設の更新にあたっては、利用者数に応じた施設規模の適正化を図るなど検討を行う必要があるとされているが、今回の移転はこうしたことも検討した上でのことか。

答 将来的な人口減少や少子化を含め、当然集約化も視野に入れて議論してきた。今回の建設予定地であれば、将来的に集約することは可能である。

問 先般地方紙に旧空港の将来的な活性化を考えていくとの県の記事があったが、新園舎の建設予定地については、県との話は何もなかったのか。

答 今回の建設予定地は旧空港跡地とは別である。跡地には防災拠点や観光施設をつくるなど、県と相談しながら進めたい。

Pick up!

町内の全小学校、中学校に

気化式冷風機を配備

小中学校で計40台

1749万円

災害時の避難所開設の際にも効果を発揮

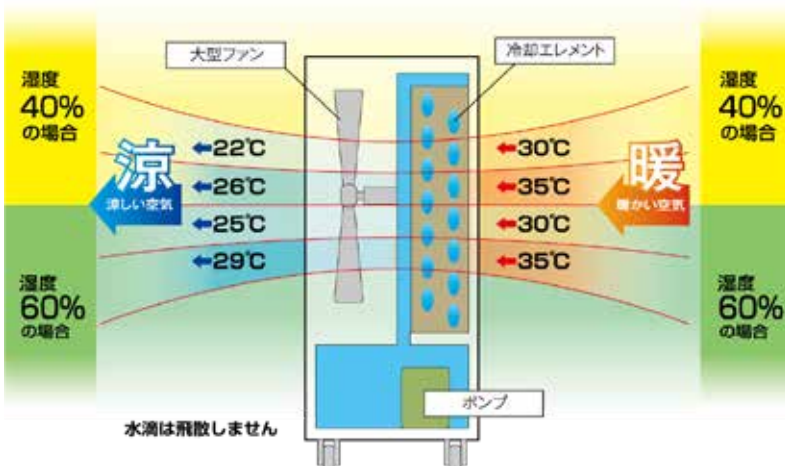
問 水分が蒸発する時に熱が奪われる気化熱の活用により非常に効果的であると考えるが、各学校への設置数はどの程度考えているのか。

答 中学校については、1校あたり4台の配備を考えている。小学校については適正数の配備を考えている。

問 富田中学校の体育館は建て替えにより2階建てとなっており、4台の配備では少ないのではないかと考えるが。

答 冷風機は体育館での体育活動で使用すること、避難所として開設する際の冷風機能も考えている。

富田中学校の新体育館の2階部分については、状況を見ながら、新たに購入するか、余剰分を回すのか総合的に判断したい。



問 日置川地域の歴史・文化で地域活性化を

答 重要な課題として調査・研究をしていきたい

問 令和2年3月10日に国史跡に指定された安宅氏城館跡や、偉業を成し遂げた小山肆成や鈴木七右衛門に関連して、歴史・文化、また観光資源として、地域活性化に繋がる取り組みを検討してはどうか。また、南紀州交流公社や日置川歴史クラブなどと連携し、歴史ある町に向けた取り組みを検討してはどうか。

答 どのように地域活性化に繋がっていくのか、人を呼び込める場所に変えていけるのか等、重要な課題として調査、研究していきたい。また、今年度、南紀州交流公社や日置川歴史クラブを含め民間有志の方々等と地域振興策について協議している。今後も連携して取り



つじ せい き 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(左：安居暗渠の取水口、右：小山肆成顕彰碑)

組んでいきたい。

問 白浜町健康交流拠点施設について

答 リヴァージュスパ・ひきがわの老朽化に伴う施設の状態と施設(浴場)改修の計画は

いかがか。

答 浴場からの漏水が

一番大きな課題となっており、来年度、漏水箇所の改修工事を行いたいと考えている。

問 中山間地域に専用ヘリポートの整備を

答 場外・臨時離着陸場の整備を継続していく

問 人口減少・高齢化が深刻である中山間地域では、今後の救急医療体制と防災対策が急務である。それを解消する施策として、専用ヘリポートを整備することで、住民の安心・安全が確立できると考えるが、当局の見解は。

答 総合医療機関から隔離した地域において、患者搬送手段の複数確保は重要である。

問 今後も中山間部の場外・臨時離着陸場の指定維持、または増加のための整備を継続していかねばならないが、その整備要領については検討課題である。

問 林道整備と森林整備事業構想

答 町の林野面積は町土の約8割

を占めているが、森林を維持管理するためどのような将来像(目指す森林・山村の姿)を考えているのか。当局の構想や方向性は。

答 現在の森林資源状況を考慮すると、今後は保育、間伐を適正に

実施していくことが重要である。町は森林環境譲与税を財源として、国が示す森林経営管理制度に基づく将来的な間伐等の森林整備に向けて取り組む。



こもり かずのり 小森 一典 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(短時間で救急患者の所に到着することで、早期に治療を開始し、病院へ搬送できる)

問 紀南地方にPCRセンターの設置を働きかけては

答 今後の動向を見極めながら対応したい

問 医療機関や福祉施設でのコロナ感染は重症化しやすく、そこで働く職員は大変な緊張感と危機感を持って接している。こうした方々が安心して働けるように、定期的にPCR検査ができないか。
また、PCRセンターの紀南地方への設置を県に働きかけてはどうか。

答 現在、県が行っている新型コロナウイルス感染症を早期発見するための相談・診療・検査体制で対応しているのではないかと考えているが、今後の動向を見極めながら対応したい。



(フラワーラインを彩ったコスモス)

モス畑が話題になった。この事業を遊休農地にも広げて取り組むことはできないか。

答 景観保全のための植栽が、遊休農地を減らし、直ちに農業振興に繋がる段階には至っておらず、今後の課題としたい。

問 農業法人化の計画はどのようなよう
に推移しているか。

ひろはたとしお 廣畑 敏雄 議員

問 秋のフラワーラインでのコス



QRコードの有効期
限は3月下旬まで

答 今年度に農家へのアンケートを実施し、また、日高町の取り組みも視察した。この結果等を考慮し、設立に向けた検討を重ねたい。

問 通院等について、どのような支援ができるか

答 送迎サービスなど実現可能な支援ができれば

問 安居暗渠の県指定文化財への指定申請時期について伺う。

答 令和3年3月の審議会までに申請する予定である。

通院等の支援について

問 通院等の支援について、具体的な協議を進めていただきたいと考えるが、当局の考えは。

答 課題はあるが、送迎サービスの充実など実現可能な施策等を講じ支援できればと考えている。

安心安全なまちづくり

問 町道朝来帰新田線の一部が大
雨により冠水したが、その原因と孤立された方々の対策について伺う。



(冠水した町道朝来帰新田線)

答 JR紀勢本線との交差点で道路が一段低い構造であり、周辺の水が集中する状態となったことが原因である。地元区、地元消防団等と連携を密にし、様々な状況に対応できるよう取り組む。

問 現在、市鹿野消防団の詰所は
どの場所を使用しているのか。詰所の建設について、地域性を考慮し環境整備を進めてはいいかがか。

ながの そういち 長野 荘一 議員



QRコードの有効期
限は3月下旬まで

答 旧市鹿野小学校の一部を使用している。詰所を併設した消防車庫の建設は必要と考えているが、地元消防団と優先順位を協議し、順次取り組みたい。

問 県道日置川大塔線の改修を

答 区長会や改修促進協議会からも要望をしていく

問 令和2年11月、町長を市鹿野に迎え懇談会が行われた。区民から様々な意見・要望があり、最も多く出た要望は、県道日置川大塔線の玉伝口から市鹿野まで約4キロの区間の改修についてであった。私の記憶にあるのは、台風で流失した市鹿野橋の架け替え以外で大規模な道路改修は行われていない。区民にとっては生活道路であるため、予算がないで済む話ではない。県に地元への説明と現地視察を求めていると聞きたいと考えるがいかがか。



(落石の多い日置川大塔線)

答 懇談会で意見の出た県道日置川大塔線の落石により防護網が大きく破損している箇所については、令和3年3月から4月頃にか

けて工事を行う予定と県から聞いている。また、路側石積崩壊箇所については、令和2年度内に発注する予定と聞いている。

当該路線の全体的な改修については、引き続き日置川区長会や県



丸本 安高 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで

道日置川大塔線改修促進協議会からも県に要望活動を行っていきたい。また、地元住民に対する説明と現地視察については県と相談したい。

問 洋上風力発電の誘致についての見解は

答 誘致による観光等への波及効果は未知数

問 国が推進する再生可能エネルギーの一つである洋上風力エネルギーを当町へ誘致すれば、観光をはじめ地域活性化に繋がると考えるが、町の見解は。

答 海外では、新たな景観を生み出す観光面や地域と発電事業者の共存による地域活性化への波及効果が事例として挙げられているが、日本では実施件数も少なく、経済効果は期待されているものの観光や地域活性化に対する波及効果は未知数のところがある。

ただ、洋上風力発電を含む再生可能エネルギーの活用については、今後のエネルギー政策を考えたとき非常に重要なものになると考えている。



正木 秀男 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで

防災対策について

問 東白浜地区から長年要望のある津波等防災施設について、早期設置が望まれるが、町の取り組み状況は。

答 町は、現在も津波避難困難地域解消対策事業を継続中である。綱、港、御舟地区の集会所を兼ねる避難所建設の必要性はあると認識しているが、町全体の津波避難困難地域解消事業終了後の事後の対策として検討したい。

オズセンターの誘致

問 新たな観光資源として、また、地域活性化策としてオズセンターの誘致などの取り組みを提言するが、町の見解は。

答 誘致は現在のところ考えていない。まずは、町の魅力を感じ取ることが出来る素材の充実・情報の発信に努めていきたい。

問

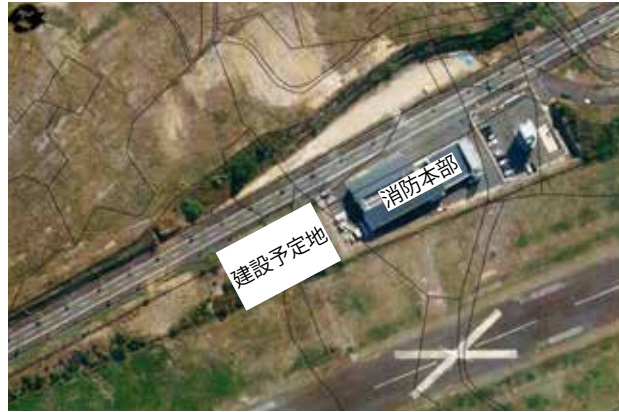
湯崎保育園の移転は園統合も考えた上でのことが

答 将来的には園の集約も可能と考えている

問 旧白浜町は幼保一元化を目指し、観光地の白浜、農村部の富田にそれぞれ幼児園があり実現しつつある。旧町の中で町立保育園単

独で残るのは湯崎保育園のみ。次年度以降も幼児減少が続く、ほかの保育園も園児受け入れに余裕があると聞いている。白浜幼児園への統合は津波浸水想定区域等の理由でできないなら、新湯崎保育園への統合も考えた上での移転なのか。また、そのような話し合いの機会を持ったことがあるのか。

答 幼保一元化の取り組みは、幼稚園を近隣の保育園と合同活動をするなどで、基本的な生活習慣を身につけることを目的としたものである。



(湯崎保育園新園舎の建設予定地)

白浜幼児園に関しては、津波浸水想定区域に一部含まれているため、将来的には消防に隣接する建設予定地にさらに造成工事を行う

ことで集約を図ることも可能であると考えている。そうした取り組みが具体的になった際には、関係する保護者や地域の皆さまのご意見を伺いたい。

問

高校再編について、町の考えは

答 よりよい高校再編となるよう協議を深めたい

問 紀南では進学高校の選択肢が少なく、今後少子化が起因し学級の統合や廃校などの心配がある。高校再編について周辺市町と情報交換し、県教委にしっかりと提言

していただきたいが町の考えは。

答 計画等策定にあたっては、県民の意見を十分汲み取っていただき、素晴らしい将来像を示していただきたいと考えている。今後、機会があることに、子どもたちが安心して高校に進学し、通学できるような努め、周辺市町とも連絡を密にして、よりよい高校再編となるよう協議を深めていきたい。

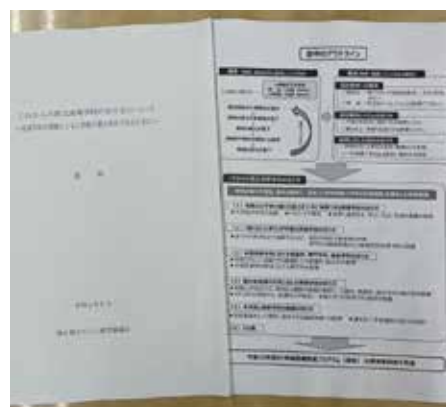
経済対策と課題

問 コロナ禍で落ち込んだ町内消

費、雇用安定や町の物品購入への地元企業支援と緊急経済対策として国や町の支援枠に沿わない方もいる。事業者以外の町民への経済対策と支援、また生活応援給付金の追加支援はできないか。

答 町民の支援としては、国の臨時交付金等を活用し、

生活応援商品券配布事業、給食費無償化事業、インフルエンザ予防接種事業等の支援策に取り組んだ。今後、国県の動向を注視し、必要な施策の検討を行いたい。



(第6期きのくに教育審議会答申)



みなみ かつや 南 勝弥 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



みずかみ くみこ 水上 久美子 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで

問

地域共生社会の実現に向け、重層的支援体制整備を

答 体制整備や事業の周知・啓発が課題である

問 包括的な相談支援、地域にすぎ戻していくための参加の支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を進めるための体制整備について、当局の見解は。

答 本事業については、現時点で具体的な検討を行うには至っておらず、情報収集をしている段階である。事業の実施にあたっては、支援体制の整備や事業の周知、啓発等が課題であると考える。

行政手続きの見直し

問 押印廃止と書面主義の見直しは、国の動きを察知し住民サービスの向上として進めるべきと考えますが、当局の考えは。



(住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会)

答 国の指針による行政手続のオンライン化の拡充や、行政事務のペーパーレス化を検討しながら、行政手続等の簡素化を進めたい。

公共施設のトイレ洋式化

問 公共施設におけるトイレの洋式化の現状と、今後の取り組みは。

答 使いやすいトイレ整備は必要であると考えている。災害時の避難場所となる施設もあり、現状等を精査し、適宜必要な整備に努めていきたい。



まつだ たけはる 松田 剛治 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで

▷▷ 議員の質問に対する町長や町職員の反問権の付与

市町村の議会では、特別にルールを設けない限り、首町らが議員に質問することは認められていませんが、白浜町議会では、平成29年秋から反問権について検討をはじめ、令和元年12月の議会運営委員会や議員懇談会で、申し合わせ事項を改正して反問権を与えることを決めました。

これにより、令和2年1月から本会議や全員協議会、委員会で、議長や委員長から許可を得た上で当局側は反問できるようになりました。ただ、反問の範囲は質問の趣旨を確認することに絞り、議員の質問に対する反論や、代替案の提示を求めるとはできないとしています。

◆反問権の付与

議員（又は委員）の質問・質疑に対して答弁する者に反問権を付与することで、議論の論点の明確化が期待され、より一層町民に開かれた議会を目指します。

◆反問とは

議会の会議において、議員（委員）からの質問や質疑の趣旨、内容、背景、根拠、考え方などを確認するため、町長や町の職員が、議員（委員）に質問することをいいます。

▶▶ 討論のあった議案

定例会4日目に、議案第87号「専決処分の承認について」に対し、廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により承認しました。

○処 分 事 項 白浜町職員の給与等に関する条例及び白浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○専決年月日 令和2年11月30日

採決の結果と討論の要旨は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	議決結果	堀匠	楠本隆典	廣畑敏雄	正木秀男	南勝弥	小森一典	丸本安高	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
議案第87号 「専決処分の承認について」	承認	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※議長(西尾智朗)は採決に加わりません。

反対討論要旨(廣畑議員)

1つ目の理由として、人事院勧告に従わなければならないという法的根拠がないように思うこと。2つ目として、新型コロナウイルスの影響で経済活動が大きく落ち込んでいる中、政府は補正予算を組み景気の下支えを行い、町もこれまで住民の支援を行ってきたと考えるが、公務員の期末手当をカットすれば購買力が落ち、町内や地方の景気に悪影響を与えることは明らかである。従って、この議案については不承認としたい。

▶▶ 本会議の録画配信

議場で行われる本会議の様子を録画、録音したものをインターネットを通じて、配信するものです。傍聴にお越しになれない方などに、手軽に議会の様子を見ていただくため、直近の議会の様子を配信しております。



【閲覧方法】

- ① 白浜町ホームページを開く
- ② トップページの中ほどにある「白浜町議会」をクリック
- ③ 「議会録画配信」をクリック

こちらを読み取っていただくことでも、ホームページをご覧くださいませ。



〈白浜町ホームページ〉

<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/>



(議員定数を減員することの採決の様子)

11月10日 議員定数等検討特別委員会 減員することに決する

本委員会では、これまで議員定数について減員、また現状維持の立場で各委員が意見を出し、協議を重ねてきました。令和2年11月10日に開いた委員会では、議員定数を「減員」とするか、「現状維持」とするか委員12人で採決を行い、起立採決の結果、「減員」することに賛成をした委員は6人で「現状維持」とする委員と同数となり、委員会条例第16条に基づき、委員長の裁決により減員することに決しました。何人減らすかについては、以降の委員会で検討しました。

11月10日 議員定数等検討特別委員会 政務活動費を後払いに変更

次に、政務活動費に関する採決を行い、交付方法を後払いとすることに賛成した委員は10人、また政務活動費を減額することに賛成した委員は5人でした。これにより、政務活動費の交付方法については次年度より後払いに変更することとし、詳細については12月1日の委員会で決定することとしました。また、政務活動費の交付額については、減額せず現状どおりとすることとしました。

採決の結果は以下のとおりです。 ※

採決事項	採決結果	楠本隆典	堀匠	廣畑敏雄	正木秀男	南勝弥	小森一典	丸本安高	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
「議員定数を減員すること」	減員する	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×
「政務活動費の交付方法を後払いに変更すること」	変更する	△	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
「政務活動費の交付額を減額すること」	減額しない	△	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×

※委員長（楠本隆典）は採決には加わりませんが、可否同数の場合委員長が「裁決」を行います。

※議長（西尾智朗）は委員ではありません。

12月1日 議員定数等検討特別委員会
政 務活動費を一括後払いへ

議員定数については、令和3年1月の委員会で減員数を決するにあたり、各委員から具体的な減員数や意見が出されました。また、政務活動費については採決の結果、全会一致で次年度から交付方法を一括後払いに変更することと決しました。



(議員定数を2人減員することの採決の様子)

と決定しました。また、議員定数にかかる審議経過と結果をまとめ、令和3年第1回定例会において委員会審査報告を行うこととしました。

1月14日 議員定数等検討特別委員会
議 員定数の減員数は2人

1月14日の委員会では、議員定数を「1人減員」とするか、「2人減員」とするかという採決をそれぞれ行い、起立採決の結果、「1人減員」に賛成した委員は5人、「2人減員」に賛成をした委員は7人であり、議員定数の減員数は2人

採決の結果は以下のとおりです。

※

採決事項	採決結果	楠本隆典	堀匠	廣畑敏雄	正木秀男	南勝弥	小森一典	丸本安高	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
「議員定数を1人減員すること」	2人減員する	/	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○
「議員定数を2人減員すること」			○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×

※委員長(楠本隆典)は採決には加わりませんが、可否同数の場合委員長が「裁決」を行います。

※議長(西尾智朗)は委員ではありません。

1月14日 観光建設農林常任委員会
緊 急経済対策の効果は

本委員会では、所管事項について協議を行いました。コロナウイルスに関する様々な緊急経済対策の効果や観光客の動向、令和3年4月に予定されている白浜観光協会と南紀白浜観光局の統合の進捗などについて、また、白浜空港横の町有地の現時点の整備状況等について、当局から説明を受けました。



決算審査特別委員会 決算審査特別委員会審査報告

決算審査特別委員会は、令和元年度一般会計および特別会計8件の決算を審査するため、10月1日から6日までの期間で開催しました。以下に、総括意見を掲載します。

決算審査特別委員会審査報告書 総括意見

令和元年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」をもとに「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と感じられる、魅力あふれる「白浜町」を創造するため、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等々の諸施策に対して取り組まれているものである。

今後の行政施策の取り組みにおいては、同計画をもとに、各種施策が展開されるであろうが、時代の変化に柔軟に対応できるまちづくりを推進するために、効果的・効率的な行政運営とともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれない。

歳入においては、人口減少に伴い町税収の伸びは期待できない状況にある中、自主財源の割合は約36%にとどまっております。地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。今後依存財源の確保や行財政運営は、極めて厳しい状況にあると考える。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであり、公金の徴収・収納に関しては、住民生活に寄り添いながら、引き続き各課の連携を密にして積極的な滞納処分を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、一層の対策に取り組まれない。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度である。財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、前年度決算より1.5ポイント悪化し、令和元年度決算では95.5%と依然として財政構造の硬直化が続いていることを示しており、今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される。こうした中、行政改革においては、財政健全化プランにより、企業誘致の推進、住基ネットシステムの共同化、職員の適正化等に取り組まれており、今後も、将来にわたり安定的に行政サービスを提供し、多様化する住民ニーズに的確に対応するため、なお一層の合理化に努めるとともに、経費支出の効率化に徹し、財政経営の健全化を図られたい。

支所及び出張所等の組織業務の見直しについては、高齢化や人口減少、産業構造、社会情勢の変化等、行政課題に応じて見直す必要があるが、中山間地域、海岸部等の地理的条件も含め、地域特性に応じた町全体の視点により検討されたい。

少子化等の更なる進展による学校の小規模化に伴い、人間関係の固定化や教育活動の制約等の課題が懸念されているが、学習環境を保障するよう努め、小中学校の適正規模、適正配置等については、学校統合も鑑み検討されたい。

若手世代職員の人材育成については、今後職務を遂行するための様々な能力や資質の一層の向上が求められており、複雑かつ高度化する行政課題を的確に捉え、既存政策を見直し、新たな視点で施策を計画し実行できるような職員育成に取り組まれない。

各種団体等への補助及び助成金については、補助基準の適正化に努められているが、各種団体の決算状況を検証するとともに、厳正な事前審査を通じ事業内容、事業体制等事業対象としての適格性を十分検討のうえ事業を執行し、執行後も指導、監督を強化し事業効果を確認されたい。また、次年度への活動目標に基づき、補助額の見直しを行うなど、事業活動が活発化されるよう指導されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会でも出された意見を真摯に受け止め、次年度予算の編成執行に生かされたい。

また、今後とも、町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供に努め、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。

【委員長】 廣畑 敏雄 【副委員長】 堅田 府利 【委員】 正木 秀男、南 勝弥、小森 一典、松田 剛治

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き（10月～12月）

10月1日	決算審査特別委員会
2日	決算審査特別委員会
5日	決算審査特別委員会
6日	決算審査特別委員会
13日	議会広報特別委員会
15日	議員定数等検討特別委員会
17日	白良浜清掃活動
21日	田辺周辺広域市町村圏組合議会 監査（田辺市）
23日	和歌山県町村議会議長会全議員 研修会（かつらぎ町）
11月2日	みなべ町議会正副議長就任挨拶 来庁
4日	公立紀南病院組合議会（田辺市）
5日	大辺路衛生施設組合議会 （すさみ町）
10日	全員協議会 議員定数等検討特別委員会
13日	紀南環境広域施設組合議会 （田辺市）
16日	紀南地方老人福祉施設組合議会 紀南地方児童福祉施設組合議会
17日	田辺周辺広域市町村圏組合議会 （田辺市）

18日	公立紀南病院組合議会決算委員会 （田辺市）
19日	富田川衛生施設組合議会
20日	議会運営委員会
24日	白浜町都市計画審議会
25日	全国議長会全国大会（東京都）
12月1日	第4回定例会第1日 全員協議会 議員定数等検討特別委員会
10日	第4回定例会第2日 議会運営委員会
11日	第4回定例会第3日 全員協議会
15日	第4回定例会第4日 議会運営委員会
16日	第4回定例会第5日 議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会
22日	中国成都市成华区友好協力関係 覚書署名式
23日	ジュニア駅伝白浜町結団式
24日	公立紀南病院組合議会（田辺市）
25日	富田川治水組合議会（上富田町）

議 員 研 修 会

12月15日、新型コロナウイルスの感染症が全国的に増加傾向にあり、県内でも連日感染者が発生している状況を踏まえ、当局から現在の県内における対策状況、そして議員研修として議員各自におけるコロナ感染防止対策について研修を受けました。手指消毒や咳エチケットなど基本的なことが重要であること等、予防対策について再確認したところです。



次回日程

次回定例会（3月）の会期は、3月2日（火）から24日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/21	2/22 議会運営委員会	2/23 天皇誕生日	2/24	2/25	2/26	2/27
2/28	3/1	2 開会日 第1日 提案説明等 10:00~	3 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	4	5	6
7	8	9	10	11 第2日 一般質問 10:00~	12 第3日 一般質問 10:00~	13
14	15 予算審査 特別委員会	16 予算審査 特別委員会	17 予算審査 特別委員会	18 (休会)	19	20
21	22	23 第4日 議案審議 10:00~	24 閉会日 第5日 議案審議 10:00~	25	26	27

3月議会の日程は、2月22日（月）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルス感染終息の兆候が見えない中で、2021年の扉は開かれることになりました。昨年は、観光業を基幹産業としている当町も相当なダメージを受け、地域経済の疲弊、並びに行事等の活動自粛に伴い、私たちの生活様式や価値観にも大きな影響を与える一年でありました。

一方、アドベンチャーワールドでは、昨秋、2年ぶりに赤ちゃんパンダが誕生し、町内外の人々へ大きな喜びと希望を与える一幕となりました。

今も尚、私たちはコロナ禍の影響下で、暫くの間、過ごさなければなりません。我々町議会は、町民の皆さま方と一緒にこの難局を乗り越え、必ず希望と平安に満たされる日々が訪れることを信じて歩んでまいりたいと思います。（小森）

お知らせ

9月議会より、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方に鑑みまして、限られた時間ではございますが、放送を始めました。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせいたしますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 堅田 府利
委員 廣畑 敏雄
小森 一典
丸本 安高
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

